



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月15日

上場会社名 ルーデン・ホールディングス(株)
 コード番号 1400 URL <http://www.ruden.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 西岡 孝
 (氏名) 佐々木 悟
 TEL 03-6455-2938

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	660	3.2	19	—	23	—	14	—
2018年12月期第1四半期	639	△0.3	△20	—	△14	—	△16	—

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 14百万円 (—%) 2018年12月期第1四半期 △16百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	1.18	1.07
2018年12月期第1四半期	△1.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	3,219	2,823	76.2
2018年12月期	3,147	2,796	77.5

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 2,454百万円 2018年12月期 2,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,544	△12.0	36	△39.4	40	△41.9	20	△58.4	1.67
通期	3,205	8.0	194	—	201	—	162	—	13.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期1Q	12,423,000 株	2018年12月期	12,418,500 株
-------------	--------------	-----------	--------------

② 期末自己株式数

2019年12月期1Q	200 株	2018年12月期	200 株
-------------	-------	-----------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年12月期1Q	12,420,967 株	2018年12月期1Q	11,091,339 株
-------------	--------------	-------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調が続いたものの、輸出や生産の一部に弱さがみられる等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループの既存事業と密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場におきましては、当第1四半期連結累計期間の供給戸数は前年同期比6%減（民間調査機関調べ）となり、契約率も2ヶ月連続して70%を切る（民間調査機関調べ）等、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、既存取引先とのさらなる関係強化及び新規法人開拓の強化に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高660百万円（前年同四半期比3.2%増）、営業利益19百万円（前年同四半期は営業損失20百万円）、経常利益23百万円（前年同四半期は経常損失14百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益14百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失16百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ハウスクエア事業

ハウスクエア事業に関しましては、密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場が厳しい状況で推移いたしました。マンションデベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力するとともに、中古マンション市場の拡大をはかり、売上・利益ともに、想定以上に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるハウスクエア事業の業績は、売上高314百万円（前年同四半期比13.7%増）、営業利益64百万円（同19.7%増）となりました。

②ビル総合管理事業

ビル総合管理事業に関しましては、新規現場の獲得はあったものの、求人募集費の増加や現場人件費の高騰に伴う経費増があり、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるビル総合管理事業の業績は、売上高327百万円（同7.4%減）、営業利益10百万円（同25.5%減）となりました。

③総合不動産事業

総合不動産事業に関しましては、売却予定物件が後ズレしたため、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における総合不動産事業の業績は、売上高17百万円（同336.0%増）、営業利益12百万円（前年同四半期は営業損失1百万円）となりました。

④その他事業

その他事業に関しましては、本格的な販売には至っておらず、厳しい状況で推移いたしました。

また、当社の子会社であるRuden Singapore Pte. Ltd. のICOについては、当社及び当社監査法人は慎重に協議いたしました。前連結会計年度に引き続き、当第1四半期連結累計期間においては収益認識しないと判断したため、連結決算には組み込んでおりません。今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。

この結果、売上高0百万円（同99.6%減）、営業利益0百万円（前年同四半期は営業損失32百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が93百万円、仕掛販売用不動産が108百万円増加したことなどによる一方、短期貸付金が156百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は201百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加いたしました。これは主に破産更正債権等が11百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は3,219百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は379百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が19百万円、未払金が19百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は16百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が4百万円、その他が2百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総負債は395百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,823百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円増加いたしました。これは主に新株予約権が10百万円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益14百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は76.2%（前連結会計年度末は77.5%）となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年2月13日の「平成30年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	639,459	615,596
受取手形及び売掛金	274,188	367,804
商品及び製品	114,544	116,866
販売用不動産	1,348,889	1,390,001
仕掛販売用不動産	41,112	150,000
仕掛品	1,611	1,905
原材料及び貯蔵品	8,919	6,824
短期貸付金	396,557	240,500
未収入金	63,938	59,596
その他	72,421	68,336
貸倒引当金	△6,057	—
流動資産合計	2,955,586	3,017,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	134,015	134,015
減価償却累計額及び減損損失累計額	△77,389	△77,950
建物及び構築物（純額）	56,625	56,064
機械装置及び運搬具	3,428	3,428
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,969	△2,992
機械装置及び運搬具（純額）	459	436
工具、器具及び備品	7,068	7,068
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,552	△4,769
工具、器具及び備品（純額）	2,515	2,298
土地	37,543	37,543
リース資産	3,700	7,236
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,638	△3,826
リース資産（純額）	61	3,410
有形固定資産合計	97,205	99,753
無形固定資産		
その他	10,403	10,403
無形固定資産合計	10,403	10,403
投資その他の資産		
投資有価証券	2,930	3,109
出資金	581	581
破産更生債権等	644,314	655,451
損害賠償請求権	70,057	70,057
その他	80,499	80,943
貸倒引当金	△714,372	△718,496
投資その他の資産合計	84,010	91,647
固定資産合計	191,620	201,804
資産合計	3,147,206	3,219,235

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	81,984	101,610
短期借入金	2,600	2,600
未払金	144,499	164,080
未払法人税等	41,527	11,906
預り金	40,936	40,418
賞与引当金	—	2,530
売上値引引当金	540	560
アフターコスト引当金	2,165	2,244
その他	27,288	53,744
流動負債合計	341,543	379,694
固定負債		
長期借入金	—	4,238
退職給付に係る負債	8,842	8,956
その他	51	2,909
固定負債合計	8,894	16,104
負債合計	350,437	395,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,625	2,189,450
資本剰余金	720,977	721,803
利益剰余金	△471,745	△457,116
自己株式	△290	△290
株主資本合計	2,437,566	2,453,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	235	354
その他の包括利益累計額合計	235	354
新株予約権	358,965	369,234
純資産合計	2,796,768	2,823,436
負債純資産合計	3,147,206	3,219,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	639,817	660,422
売上原価	403,663	404,104
売上総利益	236,154	256,318
販売費及び一般管理費	257,001	236,961
営業利益又は営業損失(△)	△20,846	19,356
営業外収益		
受取利息	4,168	3,373
その他	2,516	701
営業外収益合計	6,684	4,075
営業外費用		
支払利息	5	47
為替差損	53	32
控除対象外消費税	71	110
その他	185	—
営業外費用合計	315	190
経常利益又は経常損失(△)	△14,477	23,241
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△14,477	23,241
法人税、住民税及び事業税	6,693	7,517
法人税等調整額	△4,577	1,095
法人税等合計	2,116	8,612
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,593	14,628
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,593	14,628

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,593	14,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△208	119
その他の包括利益合計	△208	119
四半期包括利益	△16,802	14,748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,802	14,748
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	276,865	354,005	4,046	634,917	4,900	639,817	—	639,817
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	276,865	354,005	4,046	634,917	4,900	639,817	—	639,817
セグメント利益 又は損失(△)	54,273	14,431	△1,777	66,926	△32,338	34,588	△55,435	△20,846

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△55,435千円には、のれん償却額△2,541千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△52,893千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	314,837	327,920	17,643	660,402	20	660,422	—	660,422
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	314,837	327,920	17,643	660,402	20	660,422	—	660,422
セグメント利益	64,980	10,756	12,357	88,094	54	88,148	△68,792	19,356

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△68,792千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△68,792千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。